



## 第1回博物館祭

11月2・3日に第1回博物館まつりが開催されました。2日の前夜祭には囲炉裏を囲んでの昔話やわらべ歌に、親子連れの市民の方が聞きっていました。

3日の本祭には市の無形文化財の神楽や獅子などの舞いが披露されました。



## 晩秋を色どる小さな音楽会

10月22日行われたこの音楽会は、芸術文化活動グループ「ニューフロンティア号」の主催によるもの。豊栄に新たな芸術を創造しようと、約60人の参加者を得て行われました。また会場となった照善寺の境内では、「小さな彫刻展」も開かれました。

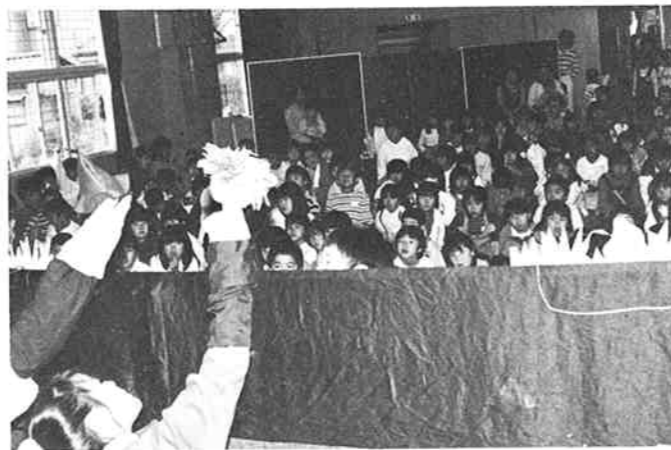


## 少年少女も 防火に一役

秋の火災予防運動初日の十月二十六日、火災予防の防火パレードが行われました。パレードに参加したのは葛塚小マーチングバンドを先頭に葛塚、葛塚東、木崎の各小学校の少年少女消防クラブ員で、市街地を行進して、道行く人に火災予防を呼びかけました。

## 豊栄牛1頭ペロリ

10月28日、牛肉の消費拡大を図ろうと豊栄市畜産振興協議会の主催で「豊栄牛を食べる会」が開かれました。会場の魚信(森下)に用意された牛肉は1人400g。220人の参加者がスキヤキにして食べた豊栄牛は、ちょうど1頭分でした。



## 人形劇「砂のよう精」

10月7日に開館10周年を記念して、葛塚東児童館まつりが行われました。マジックショーやもちつき大会、あめまき大会のあと、新潟大学の児童文化研究部の人たちによる人形劇「砂のよう精」が上演され、子供たちを楽しませていました。

## 新しい校舎が できました

### 木崎中学校新校舎しゅん工式



構造	鉄筋コンクリート 3階建
校舎面積	4411.65㎡
建設工事費	852,395,720円
設計・監理委託及び地質調査	42,500,000円
本体工事	760,200,000円
付帯工事	22,874,200円
土木工事	26,821,520円



立派に完成した新校舎

昨年二月二十三日火災で校舎を焼失し、今年七月三日から新校舎で授業が開始された、木崎中学校の新校舎しゅん工式が十月二十一日、県教育庁下越教育事務所長、小川市長、教職員、在校生など多数のみなさんが出席して体育館で行われました。来賓祝辞のあと在校生を代表して、生徒会長の桑野正行君が「立派な校舎を完成させていただき感謝します。これからは新しくなった校旗・校舎のもとで、より良い木崎中学校の校風を確立し、新校舎を大切にしていきます」と喜びの言葉をのべました。松林に囲まれた校舎で、十月二日から学校給食も開始され、新しい歴史が始まりました。

## 「お米をいっぱい食べよう」

### 米消費拡大啓もう作文コンクール入賞者発表

食生活の変化により、米の消費量が年々少なくなっています。そのため米の過剰が大きな問題となり、現在減反が実施されています。豊栄市米消費拡大推進対策協議会では、バランスのとれたごはんの食事を見直してもらい、米の消費拡大を図ろうと小学校四年生を対象に「米消費拡大啓もう作文コンクール」を行いました。入賞者は、各学校から推せんを受けた次のみなさんです。

- 太田小学校 町谷有子
  - 木崎小学校 本田明子・片野麻里
  - 川崎春佳
  - 笹山小学校 佐藤洋子
  - 横井小学校 帆刈亜紀子
  - 早通南小学校 関口 歩・川口琴子
  - 米田 茜・植木麻美・渡辺陽介
  - 豊栄南小学校 星野智恵・佐藤勝徳
- なお、県農協中央会・県米消費拡大推進協議会主催の「ごはん・お米とわたし」作文コンクール小学校四〜六年生の部において、次の二人が入選しました。
- 「米は父の宝物」佐藤美保(太田小四年)
  - 「おかあさんのおむすび日本一」佐藤夕子(葛塚東小四年)

## 文芸とよさか第5号 ただいま頒布中



文芸とよさか第五号が出来上がりました。当誌は、市民の文芸誌として親しまれ、広く市民の方から投稿をいただいています。今号は、短歌、俳句、随筆、詩、川柳に百八十八編(人)の投稿があり、内容も一層充実しました。頒布価格は、一冊六百円。中央公民館・各地区公民館・博物館・市内の書店で販売しています。